

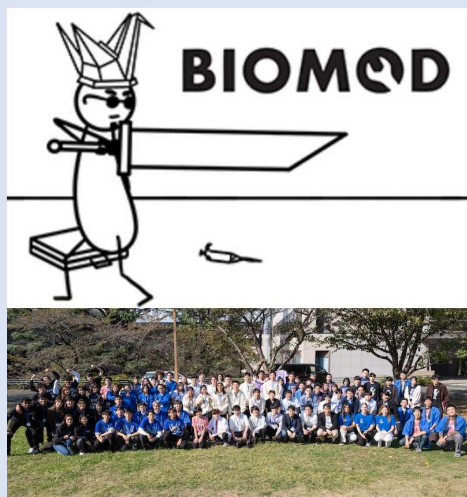
CBI研究機構 生体分子デザイン研究所

メンバー／スポンサー募集中



近年の化学・生物学・情報学の発展に伴い、生体分子のde novoデザインやリデザイン、そしてこれらを利用した分子デバイスや分子システム構築が盛んになっています。本研究所では、創薬分野に代表される将来の革新的医療技術をはじめ、環境・エネルギー・材料など多彩な分野におけるブレークスルーが期待されるこの新興領域において、研究・教育・産学連携を広く支援する活動を通じ、関連技術の社会実装を目指します。

所長 浜田省吾（東京科学大学）



**国際生体分子デザイン
コンペティション
(BIOMOD)運営による
世界的な教育活動支援**

BIOMODは2011年、S.Douglas博士の呼びかけのもと、米ハーバード大学Wyss研究所で開始されました。2024年より米国BIOMOD Foundationより本研究所へ運営を移行し、主催しています。これまでに、世界15カ国以上から、通算1400名を超える大学学部生が参加する国際大会へと成長しています。



**共有実験設備ネットワー
クの構築・運営を通じた
産学連携支援
(2025年度開始予定)**

文部科学省学術変革領域(A)
「分子サイバネティクス」で構
築した共有実験拠点ネットワ
ークをさらに発展させ、日本国内
の研究コミュニティや産業界の
皆様に広く活用いただけるよう
提供します。
東北大学: 共焦点蛍光顕微鏡etc
鳥取大学: ペプチド合成装置
名古屋大学: DNA合成装置
関西大学: 原子間力顕微鏡etc



**コミュニティによる
アドバイス・アウト
リーチ活動による
研究・産学連携支援
(2025年度開始予定)**

本研究所へ企業会員・学会会員
としてご加入いただくことで、
世界的にもユニークな「大学間
の垣根を越えたネットワーク」
へのアクセスが可能となります。
これには、最先端設備の利用に
加え、研究者による開発コンサル
ティングやノウハウの共有が
含まれます。